

理解を深める

期待と不安

第50普通科連隊の駐屯が決まった平成15年。以来、地元ではさまざまな声が聞かれています。人口が増えることによる経済効果への期待はあるものの、訓練の内容だけでなく、駐屯地ができる香我美町鳥越地区周辺の交通量が増えることによる危険性など、期待と不安の声が交錯していました。

市では、市民の皆さまの不安解消にむけ、また、駐屯への理解と知識を深めていただくために、平成16年から数回にわたり地元説明会や視察を開催してきました。不安や疑問、あるいは期待された内容について抜粋し、お知らせします。

① 演習場外での訓練

場外での訓練、特に銃を持った行進訓練は、道路交通法などに基つき、関係機関と協議の上、実施。また、事前に関係自治体を通じ、住民の皆さまへ訓練実施をお知らせします。

② ヘリの離着陸

騒音が心配されていますが、航空機の飛行制限(最低高度)を維持して飛行。ただし、気象条件や雲の状況で響くこともあります。

③ 交通量

第50普通科連隊では、20数十台の車両を保有する予定で、業務に応じて出入りすることになります。また、隊員の通勤手段は自転車やバイクが多く、通勤時間も7時から7時半ごろに集中することから、自衛隊の影響で道路が混雑することは考えにくいです。

④ 周辺環境整備

自衛隊の新設に伴い、道が広がったり、水路が改修されたりと、周辺住民の生活環境が整備されています。



共に歩むために

日本の平和と独立を守り、国の安全を保つ役割を担う自衛隊。

いかなるときにも即応態勢が求められる隊員たちは、あつてはならない有事や災害に備え、訓練を重ねることが不可欠とされています。

香南市に移駐する第50普通科連隊は、高知県全域の防衛警備、災害対処などを担い、不測の事態に備えて日々実践を積んでいます。近い将来、発生が予想される南海地震をはじめ、自然災害などが発生した時、迅速に救援対応で

きる部隊が近くにいることは、非常に心強く、頼もしい限りです。培われた実働能力や組織力は、防災活動面で大いに発揮されることが期待されています。

移駐に際し、とりわけ演習場での訓練に対する不安や心配の声が上がります。地元まちづくり協議会をはじめとする市民の皆さまが、説明会や視察、学習を通して、不安解消に向けた知識と理解を深めています。

本市には、昭和37年から香我美町岸本地区に郷土部隊として信頼される第

変わるまち

県内の市町村で、軒並み人口減少が進む中、市では、約1,000人の自衛隊関係者の人口増加による消費拡大や、地域活動が盛んになり、まちが賑やかになろうとしています。

また、普通科連隊移駐に合わせて、周辺整備を行うための国からの補助金や交付金を基に、道路改良や住宅・教育施設の建設、上下水道などのインフラ整備が進められています。

※写真は、昨年12月中旬の状況



● 県道奥西川岸本線改良

香我美町上分にある稗地交差点から同岸本の国道55号月見山交差点まで、総延長3,590mの2車線片側歩道付き道路の拡幅工事を行っています。本年3月下旬に完成予定。

この工事に伴い、月見山交差点は、現在の位置より約20m西に移動して広がり、見通しが良くなります。



● 隊員官舎

香我美町下分のAコープ前に建設。5階建て、1棟あたり50戸、計2棟100戸。幹部および家族をもつ隊員が入居予定。周辺では、民間賃貸住宅の建設も進んでいます。



● 香我美小学校校舎増築

建物は内装までほぼ出来上がっており、完成予定は1月下旬。自衛隊関係の児童約30人の転入を見込んでいます。



● 香我美幼稚園園舎増築

現在、基礎工事を進めており、3月下旬完成予定。自衛隊関係の園児約20人の転入を見込んでいます。

今年は国勢調査の年であり、地方交付税の算定の基礎となる人口が増えることは、市にとって地方交付税や税収が増え、広くまちづくりに活かされることになります。



■ 問い合わせ
市役所企画課
自衛隊立地推進係
☎ 57-8503



3月下旬には移駐記念イベントを開催する予定です。詳しい内容などが決まり次第、お知らせします。ただ今、イベント内容企画中です。お楽しみに♪

